授業科目名	野外活動	授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)
担当教員名	坂口　俊哉			補助担当者名	
単位数	1　単位	履修年次	2	受け入れ人数	10
授業の概要	野外教育分野では,野外活動体験を通じた学習を重視している.この授業では,野外活動を指導する上で必要な基礎的技術を身につけることを目標として様々な活動に取り組む.また,活動場所となる施設の特性に対する理解を深めると同時に,野外での活動を安全に実施するためのポイントについても理解することが期待される.				

授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	ＤＰで目指す資質・能力	実技力、実技指導力 （実技力，指導者基礎力，専門的な知識・教養）	授業期間				定期試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	・野外での炊事についての知識を身につける. ・地図やコンパスなどの使い方を理解する. ・活動内容の内容と背景にある危険について理解する.			○				30
	■情意的領域	・意欲的に活動に取り組む. ・野外教育施設の利用マナーを守ろうとする. ・積極的なコミュニケーションに努める. ・他者への協力的な姿勢.	○						20
	■技能的領域	・薪を使った炊事を安全にできる. ・安全確保のために必要なロープワークができる. ・地図とコンパスを使ったナビゲーションができる.	○	○			○		50

成績評価の基準	授業は全部で8週(16コマ分)開講されます.そのため3週欠席した場合,単位認定の対象となりません. 授業時間の取り組み,レポート,技能テストの得点を合計して60点以上の場合に合格とします.
テキスト、教材 参　考　書	実際に野外活動を行う上で支障のない服装,装備を準備すること.雨具,手袋(軍手,革手袋)を各自で準備すること. 教材費を実費にて徴収する.

履修条件・ 関連科目	3年時開講の学外指導実習で「野外教育施設」での実習を希望する学生については,この授業を履修しておくことが望ましい. また,この授業を履修する学生には,「夏季山岳レジャー・スポーツ実習」「冬季山岳レジャー・スポーツ実習」をあわせて履修することで「野外教育」についての理解を深めてもらいたい.	備考(教員メッセージ含む)	「大隅青少年自然の家」へ移動して授業を行う．天候の悪化，他の利用団体との調整により，シラバス通りの授業内容とならない場合もある.
オフィス・アワー	授業に関する相談は,必要に応じて随時受け付けています. メールによる連絡が確実です.以下のアドレス宛にメールを下さい. tsakaguc@nifs-k.ac.jp		

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	坂口　俊哉	ガイダンス(授業内容,受講のための準備,受講の心得)	
2	〃	ナビゲーションスキル(地図,コンパスの使い方)	課題1:地図とコンパスを用いて現在地を特定するための方法について調べ，説明できる資料を提出する．（60分）
3	〃	野外調理(1):羽釜とガスバーナーでご飯を炊く(火器の安全な使用方法の習得,炊飯の水加減)	
4	〃	イニシアティブゲーム(理論と実際)	課題2:無洗米を炊く場合の注意点についてレポートする．（60分）
5	〃	野外調理(2):羽釜と薪でご飯を炊く(火起こしの技術習得)	
6	〃	スポーツクライミング(1):安全な活動のための基礎知識習得,必要な用具の種類と使い方,トラバース,トップロープクライミング)	課題3:フリークライミング,エイドクライミング,リードクライミング,トップロープクライミング,ボルダリングの各用語についてその意味を調べてレポートする.（60分）
7	〃	野外調理(3):飯盒と薪でご飯を炊く(飯盒の使い方の習得)	
8	〃	スポーツクライミング(2):トップロープによるクライミング,グレードへの挑戦	課題4:野外で行われるクライミング活動において,活動環境を維持する上で配慮が必要なことを調べレポートすること.（60分）
9	〃	野外調理(4):飯盒と炭でご飯を炊く(炭の火起こし技術の習得)	
10	〃	スポーツクライミング(3):ビレイヤー体験,安全確保の理解と実践	課題5:オリエンテーリングの歴史,種類,必要な道具について調べレポートすること.(60分)
11	〃	野外調理(5):自由調理	
12	〃	オリエンテーリング(1):スコアオリエンテーリングの体験	課題6:コントロールの写真をマップ上に配置した地図の作成（60分）
13	〃	オリエンテーリング(2):前週の続き．マップ完成に向けて．	
14	〃	オリエンテーリング(3):前回の続き	課題７：マップを完成させて提出する（60分）
15	〃	ふりかえり:授業内容の確認と共有	
16	〃	筆記テスト・実技テスト	